

マダニ媒介感染症に注意しましょう！

1. 野山には細菌やウイルスなどの病原微生物を保有するマダニ（数パーセントが保有すると言われています）が生息しています。マダニに刺された後1週間前後で「日本紅斑熱」や「重症熱性血小板減少症候群」という疾患を発症する事があります。
 2. 三重県では伊勢志摩地方を中心に年間30～40件程度の日本紅斑熱症例が報告されています。また2015年には重症熱性血小板減少症候群の患者が発生しました。
 3. これらの疾患の多くはマダニの活動時期に一致し、春から秋にかけて発生します。マダニに刺されたことに気付かず発症する方もいます。
 4. マダニに刺されても、これらの疾患を発症する可能性は高くありませんが、**流行時期に次の症状があれば、発症した可能性があります。直ちに医療機関を受診し、医師にマダニに刺された可能性があることを告げましょう。**
- * 通常、人から人に感染することはありません。

＜日本紅斑熱の主な症状＞

体がだるい・高熱・頭痛・筋肉痛・痒みや痛みのない全身に広がる多発性の発疹

＜重症熱性血小板減少症候群の主な症状＞

高熱・頭痛・意識障害・消化器症状（食欲不振、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛）



←マダニの刺し口



←（痒くないのが特徴的）
日本紅斑熱の発疹：右腕

※発疹及び刺し口の画像：伊勢赤十字病院

＜野山に立ち入る際の注意事項（マダニに刺されないことが大切！）＞

1. 長袖、長ズボン、手袋などを着用し、肌の露出を避けましょう。
2. DEET（ディート）という成分を含む虫除け剤に補助的な効果があると言われています。
3. 野山に立ち入った後は、家の外で服や体をはたき、マダニを落としましょう。
4. 野山に立ち入った衣服は、すぐに洗濯するか、ビニール袋等に入れ、密封し保管しましょう。
5. 出来るだけ早くシャワーを浴びましょう。その際、マダニに刺されていないか全身（特に頭髪部、首、脇の下、脇腹、足の付け根、膝の裏等）を観察しましょう。

＜マダニに刺された時の注意事項（マダニをつぶさないことが大切！）＞

1. 自分で取る時は、ワセリン等でマダニと刺された部分を覆い約30分間放置後、ガーゼや布等でマダニの頭側から拭き取ってください。
2. それでも取れない時は、マダニをつぶさないように頭部をピンセットでつまんで、慎重に取り除きましょう。
3. 自分で取れない時は、無理に取らずに最寄りの医療機関に相談しましょう。

＜問い合わせ先＞ 伊勢市勢田町628-2 三重県伊勢保健所 保健衛生室 健康増進課
電話：0596-27-5137 FAX：0596-27-5253

※協力：伊勢赤十字病院 ・ 三重県保健環境研究所